日本文化研究（演劇）II

科目ナンバリング　ARL-202
選択　　2単位

小泉　優莉菜

1. 授業の概要（ねらい）

世界の演劇文化の中の、日本の演劇について学びます。本講義では、音楽や舞踊といった、演劇の様々な側面を理解します。数回は記録映画を鑑賞するほか、実演家等の外部講師をお招きすることがあります（詳細につきましては授業中にお知らせします）。

2. 授業の到達目標

日本芸能史について理解した上で、他の人に対して説明ができることを目標とします。

3. 成績評価の方法および基準

期末試験（60%）、小テスト・レポート（20%）、平常点（20%）を合わせて評価します。期末試験は、ノート等の持ち込みを可能とした記述形式の試験を行います。

4. 教科書・参考文献

教科書
プリントを用意します。
参考文献
授業の時に紹介します。

5. 準備学修の内容

日本の演劇に限らず、さまざまな舞台芸術についてできるだけ触れて下さい。

6. その他履修上の注意事項

積極的な態度で出席して下さい。わからないことがあれば質問して下さい。

7. 授業内容

【第1回】　ガイダンス
【第2回】　日本の演劇概説①（前期：日本文化研究（演劇）Ｉの振り返り）
【第3回】　日本の演劇概説②（前期：日本文化研究（演劇）Ｉの振り返り）
【第4回】　沖縄の芸能
【第5回】　信じることと演じること（宗教と演劇）
【第6回】　演劇を伝承すること（民俗芸能）
【第7回】　社会と演劇
【第8回】　演劇の様々な発展
【第9回】　演劇の中での「変身」
【第10回】　演劇のミメーシスと記号
【第11回】　日本の演劇の2つのタイプ
【第12回】　演じることと生きること
【第13回】　演劇とサブカルチャー
【第14回】　現代における演劇の文化
【第15回】　まとめ（試験）